

ふれあいネットワーク

第132号



# 福祉だより

平成25年1月20日

発行



## 「今年もすごい雪だな～」

一人暮らし高齢者宅の屋根の雪下ろしをするボランティアさん。今年も大変な豪雪になりました。まだまだ降るべが？



除雪のようす

編集・発行／社会福祉法人東成瀬村社会福祉協議会

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1 TEL0182-47-2700 FAX0182-47-2750

東成瀬社協ホームページ <http://www.higashinaruse-shakyo.com>

Eメールアドレス [info@higashinaruse-shakyo.com](mailto:info@higashinaruse-shakyo.com)  
[sw.higashinaruse.akt@viola.ocn.ne.jp](mailto:sw.higashinaruse.akt@viola.ocn.ne.jp)

# 新年にあたって

会長 佐々木 哲 男



福祉団体の活動が活性化する要因として、最も求められているのは、人材であると考えています。

福祉対策そのものが、対象とされる方々も「人」であり、これを支援したり、お手伝いする方々も「人」であることは言うまでもありません。

同時に、一人一人の力では及ばない場面も出てくるのも又現実であります。

そうした場合には、組織・団体として、お互いが協力し合って力を発揮し、支援していく体制の整備が求められます。

そうした、人と組織体制をどう構築していくか、更に各

種の福祉施策の適切な適用と指導が円滑に噛み合っており、村の福祉対策は充実していくものと考えています。

そうした視点で、村の社会福祉協議会のあり方を考える時、これまで実践してまいりました事業は一定の重要な役割を担い実現してきたものと思っております。

現在、社会福祉協議会では、人材活用を含めてより充実した体制を作り上げ、村内各種福祉団体との連携を強め、より充実した指導機関としての役割の一歩を担ってまいりたいと考えております。

福祉は、派手でなくてもよく、着実に地に人に根付いた支援のあり方を掘り下げて真に求められる活動を目指してまいりたいと考えております。



## 地域福祉トータルケアサポート運営委員会 ～ 各地区、各関係機関との連携を図る ～

12月26日に開催された地域福祉トータルケアサポート運営委員会。この会議は、各地区で開催されたネットワーク活動連絡会で出された地域の課題等について情報共有を図ることを主な目的とし、地区福祉推進協議会役員、民生児童委員、警察署、消防のほか、各関係機関・団体等に集まっていたいただき開催しているものです。

今回は、各地区のネットワークに関する情報提供のほか、村内のふれあい安心電話の設置状況、今年度一部見直しを図られた雪下ろしサービスの概要と事故対策等について話し合いがもたれました。

### 《 役員の認識不足が課題 》

これは以前から課題として挙げられていたことですが、ネットワーク連絡会が日中開催のため、特に地区役員の参加が少なく、ネットワークに対する認識が低いということです。開催時間等を変更してほしいという意見も聞かれましたが、こちらとしては各地区の開催希望時間に合わせたいと思いますので、今一度役員の方々とご検討いただければと思います。

又、消防署職員より、特に雪下ろしボランティアとして作業に従事する際には、面倒がらずに命綱等の使用を心掛けてほしいという話がされました。



25名の関係者の方々に集まっていたきました

### 《 要支援者マップの課題点を探る 》

当村の要支援者マップは、要支援者別に6種類に色分けされていますが、種類が多すぎるため、特に世帯数が多い地区ではシールが大量に貼られ、見づらいという意見が聞かれました。又、「要介護者のいる世帯」でも自力で避難が可能な要介護者は対象から外し、寝たきりの人のみに絞ったほうがよいという意見で一致されました。

今回のような機会を利用しながら、マップの改善に向けて地区との連携を密にしていきたいと思ひます。



要支援者マップを見直しました



ふれあい・いきがい・おもいやり

# 第40回社会福祉大会

十一月十八日、地域交流センターゆめるんにおいて、第40回社会福祉大会が行われました。今年は「一人ひとりがその人らしくいきいきと暮らせる安心・安全な村づくり」をスローガンに、各団体・関係機関の皆様を始め、二五〇余名もの一般住民の方々に参加していただきまし

た。福祉活動の優秀団体の表彰、福祉功労者への感謝状の贈呈、佐々木会長の挨拶（活動報告を含む）のほか、今年度はエーザイ株式会社、ファイザー株式会社との共催で、横手市の福岡内科医院院長の福岡隆三氏を講師に、「認知症を知りましょう」

中核症状と周辺症状」と題した講演が行われました。

「認知症の周辺症状について」は、家庭環境が影響して進行しやすい。その人の尊厳を守ることも大切である。認知症と疑われる行為等みられればまずは早めの受診を。」とお話をいただきました。認知症は今や誰もが関心をもつテーマの一つであり、皆さん真剣に耳を傾けていました。

当日はホールにて認知症の予防に関するパンフレット等を配布し認知症の理解促進を図るとともに、タッチパネルによる物忘れ相談プログラムも実施され、多くの方が自分の「物忘れ度合」をチェックしていたようです。

大会の最後には今年度二十歳を迎えた高橋優さんと谷藤葉月さんにより提案された大会宣言が採択されました。

初雪が降る悪天候のなか、最後までご参加いただいた方々に感謝申し上げるとともに、今後地域福祉の増進にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

## ★社会福祉協議会会長表彰

- ・福祉活動優秀団体  
岩井川・入道地区福祉推進協議会

## ★社会福祉協議会会長感謝状

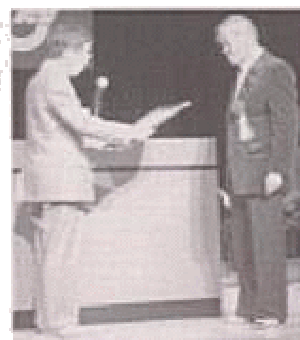
- ・社会福祉功労  
佐藤 岩 雄（滝ノ沢）  
沼 倉 喜 一（田子内）
- ・共同募金奉仕員功労  
鈴木 長 一（重里台）



大会宣言案を朗読



講師 福岡隆三 氏



社会福祉功労で受賞される沼倉さん



なるせ児童館のスコップ三味線

福祉大会終了後に行われたたすけあいチャリティショーでは、村芸術文化協会の協力のもと、総勢十組による踊りや唄、寸劇等を披露していただきました。今年度は秋田市出身のシンガーソングライター渡部絢也さんのミニライブも行われ、最後には成瀬YOSAKOI仙人響の皆さんとコラボレーションした盛大なステージが披露され、会場からはたくさんの方の拍手と歓声が沸き起こっていました。

このたすけあいチャリティショーは、村の要援護者の方々に少しでも明るく楽しい生活を送っていただくことを目的に開催しており、今年度の収益金は年末に歳末見舞い金（品）として民生委員さんの手により配分されたほか、今後、村の在宅福祉サービスにも役立てるることになっております。

たすけあいチャリティショー



渡部絢也さんの盛大なステージ



「白虎隊」こまち踊り同好会



民謡同好会が自慢の唄声を披露

# ふれあいネットワーク情報

## 雪下ろしサービスについて

平成二十四年度下期ネットワーク連絡会が、十一月に九地区にて開催されました。

身体状況・生活等についてはもちろんのこと、下期は主に雪下ろしサービスについて話し合いがもたれました。

ここ数年、降り続く雪に悩まされております。更に、雪下ろしボランティアさんの高齢化・減少が課題となっており、雪下ろしサービスへの対応が難しくなってきました。

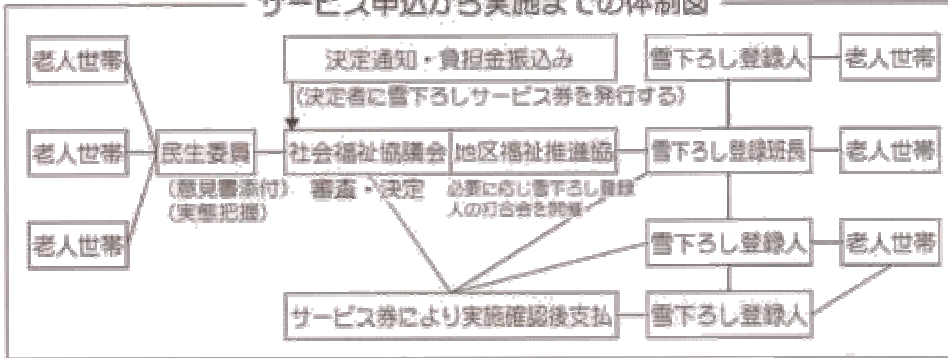
そこで、今年度より村建設業協会に協力をお願いしました。基本はボランティア登録をしていただく方が、対応が出来ない場合は、各地区の班長さんより、建設業協会（商工会窓口）へ連絡していただく予定です。

また、「雪下ろしサービスチケット」の利用の仕方が分からない」との声もあり、全地区で統一してほしいとのことでした。屋根の雪は、地区により雪の量も違い、その家々の屋根の傾き

や積もり方でも違います。チケットの渡し方、受け取り方については、社会福祉協議会では一日八時間で換算してくださるようお願いしております。

今年度より雪下ろし報酬は一

サービス申込から実施までの体制図



田子内地区ネットワーク連絡会のようす

日あたり一万二千円で、利用チケット一回分は、六千円券（半日券）が二枚となります。

冬季間の高齢者世帯等の安心安全な生活を地域住民とともに確保していきたいと思えます。

また、研修ではふれあい安心電話について再確認をしました。

協力員の役割と対応について、中央受信センターからの要請に対応し、緊急時には利用者宅に向いて状況確認と可能な範囲での対応をお願いします。

安心電話のシステム体系については、緊急対応と気軽に話ができるふれあい相談があり、二十四時間対応できます。

ふれあい安心電話を利用して、協力員の方、地域皆でお互い理解しながら安心な生活が送れるように話し合いをしました。

## ふれあいボランティア活動

### 手作り弁当を届けました

十月二十二日（月）、ゆるるんにおいて、ふれあいボランティア活動が行われ、小学校八年生の子どもたち八名と、



かぶと桜えびの和え物をつくっているようす



手紙も添えて宅配しました

日赤奉仕団員の方と交流を深めながら、岩井川（中・上）、入道地区の一人暮らしの方々へあたたかい手作り弁当を届けました。

## 間違い探し...ちよつとひと息...

下の絵には間違いは全部で5箇所あります。



答えは、6ページの下にあります。

# ふれあい レポート



12/10 児童・母子・父子福祉部会と民協女性部が合同で湯沢市の双葉幼稚園を視察しました。



12/4 田子内老人クラブで恒例のしめ縄づくりが行われました。



12/17 手倉地区福祉講座ではゲームをしながら口腔ケアについて学びました。



12/16 ひとり親家庭のつどいでは栄養士の半田恭子さん指導のもとクリスマス料理を作りました。



12/27 なるせゆいっこの会の買い物ツアーにて、年末年始の“ごっつお”の買い物をしてきました。



12/20 大柳地区ふれあいいきいきサロンではみんなで巻かずしを作って食べました。



★受付期間 平成二十五年  
二月二十八日まで

★申込 社会福祉協議会窓口で交付される登録申込書に必要事項を記入のうえ提出してください。(初めて登録を行う方は資格を証明する書類(写)を添付)

(年間)

★登録料(保険料等) 千円

★活動報酬 一時間千円

★活動内容 家事援助サー

ビス・介護サービス

★資格要件 二級ヘルパー

等の資格を有している方

★活動内容 家事援助サー

ビス・介護サービス

★活動登録期間 平成二十

五年四月一日～平成二十

六年三月三十一日

★活動登録期間 平成二十

五年四月一日～平成二十

六年三月三十一日

★活動登録期間 平成二十

五年四月一日～平成二十

六年三月三十一日

あったか訪問活動員  
募集のお知らせ

# みんなの声 老人クラブ手倉寿会



会長 菊地 富雄

手倉老人クラブ寿会の誕生について今から二十五年前になりますが、その時代は、たしか格川老人クラブと言う名前だったと思います。

その頃に各部落に老人クラブを作る話が社協の方より出まして、当時私も民生委員をしております関係から社協の指導を受けながら手倉部落の老人クラブ作りに入りました。今八十五・六歳の人達が六十才になったばかりだったせいか老人クラブの老人という言葉が嫌いな人達が多数いました。それで皆で話し合いをしました。なかなか良い案がでませんでした。当時会長をしていました柴田春栄さんが、

「それでは老人クラブと言う名前をやめて手倉寿会と名称にしたらどうか」という話になり、現在の手倉寿会という会が出来ました。

私も六十才になり寿会に参加致しまして、四代目の会長を引き受け十年になります。

現在七十七才、会員の皆様のご指導をいただきながら活動をしておりますが、そろそろ交代の時期かなと考えながら今日に至っております。

御年始に当たりまして、老人クラブ皆様の健勝とご多幸お祈り致します。



一斉清掃後のひと休み

## 職員募集

東成瀬村社会福祉協議会では次により職員を募集します。

### ■職種及び採用人員

- ①介護支援専門員 一名
- ②訪問介護員 一名
- ③社会福祉士 一名
- ④コミュニティヘルパー 一名

### ■雇用形態 いずれも正職員

■採用年月日 平成二十五年四月一日

### ■勤務地

- ①及び② 幸寿苑内（東成瀬村ケアサポート仙人の杜）及び「訪問介護仙人の杜」
- ③及び④ 社会福祉協議会事務所（山村開発センター二階）

### ■応募資格 ※いずれも取得見込みを含む

- ①介護支援専門員 介護支援専門員資格を取得している方
- ②訪問介護員 介護福祉士及びヘルパー二級以上の資格を取得している方
- ③社会福祉士 社会福祉士資格を取得している方
- ④コミュニティヘルパー 社会福祉主事任用資格を取得している方

### ■申込み受付期間

平成二十五年一月二十一日～平成二十五年二月十五日

### ■問合せ及び申込み

東成瀬村社会福祉協議会 〇四七―二七〇〇  
東成瀬村ケアサポート仙人の杜 〇四七―三七〇〇



## 表彰

◎秋田県老人クラブ連合会活動賞  
入道老人クラブ「久寿会」

### ありがとう善意

（平成二十四年十一月～二十五年一月）

次の方より社会福祉協議会の善意銀行にご厚志がありました。厚くお礼申し上げます。

### ★寄付金

高橋 勇 様（入道）  
白沢 雅彦 様（田子内）  
J.A.おがら福祉センター従業員親睦会 様  
谷藤 淳 様（岩井川）

## お知らせ

### 歳末たすけあい 募金にお礼

「地域で支えあう明るいお正月」をスローガンに、十二月に実施されました歳末たすけあい募金に、今年も皆さんの温かい思いやりがたくさん寄せられました。

募金総額は、チャリティ収益金の一部も含めて四十七万八千円となり、配分審議会を経て村内の要援護者の方々（七十四件）に配分されました。皆さんのご協力に対し厚くお礼申し上げます。